



『花は黙って咲き 黙って散ってゆく そうして再び枝に帰らない
 けれどもその一時一処にこの世のすべてを託している
 一輪の花の声であり 一枝の花の真である
 永遠に滅びぬいのらの歡びが 悔いなくそこに輝いている』

私が修行していた京都の南禅寺専門道場の客殿には、柴山全慶しばやまぜんけい老師（1894～1974）の書かれたこの詩が掲げられており、それはとても気品に満ちた墨蹟でした。道場に入門して三日目よりこの客間に通され、五日間の面壁坐禅めんぺきざぜんを強いられるのですが、緊張と不安と苦痛の交錯する中、この詩によって今までに感じたこともない、とても大切な何かに気づかされ、勇気づけられ、また向かうべき方向性が見い出され、更には覚悟を新たにした、私にとってそんな思い出深い詩なのです。解釈を見てみましょう

花はただ、自らに与えられた命を一生懸命に生きている。人に見てもらおうとか、綺麗に思われたいと願っているのでもなく、花はただ咲くだけ。その一途な姿が、たまたま周りのところを惹きつけ感動を与える。いま生きている我々も死に向かって生き、やがては散る。散った花は執着も知らずもとの枝に戻ることもない。花は「今、ここ」を「ただ、ひたすら」咲いている。どんなに短い命であっても咲く花のように、我々も一瞬一瞬を精一杯生きられたなら悔いもなく、それぞれに輝く人生であろう。そして、いのちは永遠なのである。

正光寺の

花まつり

おしゃかさまのおたんじょう会のお知らせ

4月8日はおしゃかさまのお誕生日です。正光寺では50年ほど前に大きな白いゾウさんを作って、その上におしゃかさまを乗せて町内をパレードしていました。先年、その大切なおめでたい行事を復活させました。おとなも子供も檀家さんもそうでない人もこのパレードに参加して、この世の平和と安寧を祈る『平和ウォーキング』といたしましょう。一人でも多くのご参加をお待ちしています。(歩き易い服装で参加して下さい。)

日時：平成28年4月3日(日) 午前10:00~12:00

順路：正光寺東門 ⇒ 羽鳥 ⇒ 豊町下 ⇒ 笠井街道 ⇒ 豊町上 ⇒ 正光寺門前

内容：正光寺をスタートしたゾウさんは、羽鳥を通して豊町下町内をまわり、笠井街道を通して豊町上町内をめぐり、正光寺までもどって来ます。その間、ご詠歌隊や虚無僧さん、檀家さん、こどもたちの行列は沿道の人々におまんじゅうを配ってお祝いのおすそ分けを。沿道の方も子供たちを励まして応援して下さい。おみやげやご祝儀も大歓迎です。途中2ヶ所の休憩所ではお釈迦さまに甘茶をかけてお祝いをしましょう。雨天の時はパレード中止。10時から本堂の中でおしゃかさまに甘茶をかけてお経を唱え、ごほうびは・・・差し上げます。小さな子供さんは保護者同伴でご参加下さい。

